

第2回山形沿岸海岸保全基本計画検討委員会での主な意見

- 資料2のP10 No.10 清掃活動の記述にあるとおり、庄内では海岸清掃、海中清掃などの活動をしている団体がたくさんありますが、地元の方が活動している団体の情報を把握できていない場合があります。清掃活動をする際に事前に周知するなど、関係機関における情報提供・共有に努めてほしい。
- 海岸行政は関係機関が多岐に渡る（国、県、市町）こともあり、海岸を利用してイベント等をする際に、個人・団体では解決できないことがある。困ったときの窓口がわかりやすくなるよう、関係機関の連携を図っていただきたい。
- 子どもたちが自然観察等の学習を行う場所や機会が増えること、そしてそのような活動が広く周知されることを望む。
- 防災水準にソフト対策の記述がある。ソフト対策において重要なのは、海の危険性を海岸利用者等が正しく理解することと考えるが、そのような取り組みや機会が少ないのが現状である。このため、海岸管理者を含めた関係機関や海岸で活動している団体等には、住民や海岸利用者に波の力を正しく知ってもらうような、海に親しむ機会づくりに努めてほしい。